

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年10月31日

上場会社名 イチカワ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3513 URL http://www.ik-felt.co.jp  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 孝信  
問合せ先責任者(役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 山崎 敦 (TEL) 03-3816-1111  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,860	5.3	649	96.4	835	48.1	587	30.3
2023年3月期第2四半期	6,515	11.2	330	51.1	564	62.6	450	66.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,481百万円(199.4%) 2023年3月期第2四半期 494百万円(90.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	129.07	—
2023年3月期第2四半期	98.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	28,485	20,563	72.1
2023年3月期	26,643	19,515	73.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 20,546百万円 2023年3月期 19,495百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,300	△0.3	700	△12.6	1,000	△4.2	600	△28.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( ) 、除外 一社 ( )

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	4,967,151株	2023年3月期	4,967,151株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	568,195株	2023年3月期	389,126株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	4,549,091株	2023年3月期2Q	4,578,148株

※期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに持ち直しているものの、原油価格高騰などエネルギー価格の高止まり、それに伴う原材料価格の高騰、及び日米金利差拡大による円安ドル高の進行など、一進一退を繰り返す状況となっております。

当社グループの主要取引先であります紙パルプ業界の動向は、国内につきましては、衛生用紙の需要は横ばいで推移しておりますが、新聞用紙及び印刷情報用紙の需要は、新型コロナウイルス禍以前の水準までは回復に至らず減少傾向が続いており、加えて、板紙の需要も中国経済悪化に伴い減少しております。一方、海外につきましては、早くから市場規模の大きな主要地域に進出し、グローバルな販売体制による積極的な拡販活動展開により、シェア拡大を目指しております。海外市場は、アジア地域において通販市場の拡大に伴う板紙及び衛生用紙の需要があるものの、新聞用紙及び印刷情報用紙は国内と同様に需要の減少傾向が続くと見込まれ、国内市場同様に中国経済の悪化の影響を受け厳しい状況が継続しております。これを受け、当社は世界的な紙の需要減を見込み、抄紙用フェルトのコスト競争力を強化するべく生産体制の最適化を図ってまいりました。加えて、品質面では衛生用紙向けベルトが世界的に評価され、拡販につなげるべく積極的な受注活動を行ってまいりました。

このような状況の中、前年度後半から実施しました国内製品価格改定、海外ベルトの増販に加え、為替が円安に推移した影響により、当社グループの連結売上高は6,860百万円（前年同期比5.3%増）となりました。損益の状況につきましては、連結営業利益は649百万円（前年同期比96.4%増）、連結経常利益は835百万円（前年同期比48.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は587百万円（前年同期比30.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### <抄紙用具関連事業>

##### (日本)

内需につきましては、抄紙用フェルトはコスト上昇分を製品価格へ転嫁したものの需要の減少により販売数量及び金額が減少いたしました。輸出につきましては、抄紙用ベルトは受注活動を推進したことにより販売数量が増加いたしました。

これに加え為替影響により、売上高は4,290百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

##### (北米)

抄紙用フェルトは、大手顧客の生産集約により販売数量が減少いたしました。一方抄紙用ベルトは、衛生用紙向け製品の品質が評価され販売数量が増加いたしました。

これに加え為替影響により、売上高は1,016百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

##### (欧州)

抄紙用ベルトは、受注活動を推進したことにより販売数量が増加いたしました。

これに加え為替影響により、売上高は1,071百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

##### (中国)

抄紙用フェルトは、衛生用紙向けの拡販により販売数量が増加いたしました。

この結果、売上高は109百万円（前年同期比29.0%増）となりました。

##### (タイ)

抄紙用フェルトは、販売製品の選択と集中を行ったため販売数量が減少いたしました。

この結果、売上高は143百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

#### <工業用事業>

工業用フェルトは、輸出向けの販売数量が減少いたしました。

この結果、売上高は228百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,842百万円増加し、28,485百万円となりました。これは主として現金及び預金が346百万円、受取手形及び売掛金が623百万円、投資有価証券が788百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ794百万円増加し、7,922百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が131百万円、流動負債その他が319百万円、繰延税金負債が236百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,047百万円増加し、20,563百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金が729百万円、利益剰余金が400百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ343百万円増加し、6,109百万円（前年度末比6.0%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益823百万円の計上、非資金費用である減価償却費511百万円の計上、法人税等の支払による支出195百万円などにより775百万円の収入（前年同期比178百万円の収入増）となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入194百万円、有形固定資産の取得による支出227百万円などにより38百万円の支出（前年同期比75百万円の支出減）となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出268百万円、配当金の支払による支出186百万円などにより503百万円の支出（前年同期比330百万円の支出増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年10月30日に公表いたしました2024年3月期通期の業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,784	6,131
受取手形及び売掛金	4,385	5,009
商品及び製品	1,599	1,721
仕掛品	997	1,020
原材料及び貯蔵品	867	901
その他	182	181
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	13,813	14,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,971	3,985
機械装置及び運搬具（純額）	2,804	2,689
リース資産（純額）	67	65
その他（純額）	2,154	2,168
有形固定資産合計	8,997	8,909
無形固定資産	74	63
投資その他の資産		
投資有価証券	3,687	4,475
繰延税金資産	30	32
その他	90	90
貸倒引当金	△50	△49
投資その他の資産合計	3,757	4,548
固定資産合計	12,829	13,521
資産合計	26,643	28,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	602	733
短期借入金	860	860
リース債務	52	48
未払法人税等	146	245
賞与引当金	438	453
役員賞与引当金	32	-
その他	1,027	1,347
流動負債合計	3,159	3,689
固定負債		
リース債務	29	28
繰延税金負債	521	757
役員株式給付引当金	131	134
退職給付に係る負債	3,202	3,225
その他	83	86
固定負債合計	3,968	4,233
負債合計	7,128	7,922
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,594	3,594
資本剰余金	2,333	2,333
利益剰余金	12,593	12,994
自己株式	△647	△895
株主資本合計	17,873	18,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,403	2,132
為替換算調整勘定	208	383
退職給付に係る調整累計額	9	3
その他の包括利益累計額合計	1,621	2,519
非支配株主持分	19	16
純資産合計	19,515	20,563
負債純資産合計	26,643	28,485

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,515	6,860
売上原価	3,907	3,911
売上総利益	2,607	2,948
販売費及び一般管理費	2,277	2,298
営業利益	330	649
営業外収益		
受取利息及び配当金	56	56
為替差益	132	126
雇用調整助成金	16	-
その他	57	36
営業外収益合計	263	219
営業外費用		
支払利息	3	3
賃貸費用	7	7
訴訟関連費用	4	5
その他	14	17
営業外費用合計	30	33
経常利益	564	835
特別利益		
投資有価証券売却益	-	18
特別利益合計	-	18
特別損失		
投資有価証券売却損	-	29
特別損失合計	-	29
税金等調整前四半期純利益	564	823
法人税、住民税及び事業税	196	263
法人税等調整額	△83	△27
法人税等合計	112	236
四半期純利益	451	587
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	450	587



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	451	587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	729
為替換算調整勘定	189	171
退職給付に係る調整額	△6	△6
その他の包括利益合計	43	894
四半期包括利益	494	1,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	492	1,485
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	564	823
減価償却費	501	511
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12	15
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△32
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23	23
受取利息及び受取配当金	△56	△56
雇用調整助成金	△16	-
支払利息	3	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△175	△540
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△46	△121
仕入債務の増減額 (△は減少)	△39	54
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	14	2
その他	14	223
小計	733	918
利息及び配当金の受取額	56	56
雇用調整助成金の受取額	16	-
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△205	△195
営業活動によるキャッシュ・フロー	597	775
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△111	△227
投資有価証券の売却による収入	-	194
その他	△2	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114	△38
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△32	△48
自己株式の取得による支出	△0	△268
配当金の支払額	△139	△186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172	△503
現金及び現金同等物に係る換算差額	120	110
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	431	343
現金及び現金同等物の期首残高	4,435	5,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,867	6,109

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	抄紙用具関連事業					工業用 事業	計		
	日本	北米	欧州	中国	タイ				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,146	912	952	84	146	273	6,515	—	6,515
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,412	—	—	169	24	7	1,614	△1,614	—
計	5,558	912	952	254	171	281	8,129	△1,614	6,515
セグメント利益	924	64	62	23	27	32	1,135	△804	330

(注) 1 セグメント利益の調整額△804百万円には、セグメント間消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△823百万円、棚卸資産の調整額△87百万円、為替レート差額97百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	北米	欧州	中国	その他の地域	合計
2,914	737	806	790	1,264	6,515

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2	
	抄紙用具関連事業					工業用 事業			計
	日本	北米	欧州	中国	タイ				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,290	1,016	1,071	109	143	228	6,860	—	
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,463	—	—	172	20	6	1,663	△1,663	
計	5,754	1,016	1,071	281	164	235	8,523	△1,663	
セグメント利益	1,165	60	59	27	13	14	1,341	△692	

(注) 1 セグメント利益の調整額△692百万円には、セグメント間消去10百万円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△846百万円、棚卸資産の調整額84百万円、為替レート差額63百万円が含まれています。全社費  
 用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	北米	欧州	中国	その他の地域	合計
2,866	822	880	908	1,381	6,860

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。